

28年2月26日

豊明市長 殿

申請者 所在地
団体名 ハイユン肇記グループ
「肇記の(イト)隊」
代表者名 角岡宏枝
電話番号

市民提案型まちづくり事業交付金実績報告書

平成27年10月1日付け27指令第59号で交付決定を受けた交付金について、豊明市市民提案型まちづくり事業交付金交付要綱第15条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 交付決定された交付金の額 金 29,000 円

- 2 関係書類
 - (1) 事業活動報告書・写真等
 - (2) 事業収支決算書・領収書等の写し
 - (3) その他

事業活動報告書

団体名	パソコン筆記グループ「筆記∞(エイト)隊」
事業の名称	パソコン筆記の為の備品購入。
実施した事業の内容 (活動内容、実施日時、 場所、参加状況等)	<p>10/2、9、16、23、30、11/6(金) パソコン筆記ボランティア養成講座主催：社協</p> <p>10/8(木)定例会 11/1(日)ボラフェスタ</p> <p>11/5(木)豊明市福祉実践教室(沓掛中)主催：社協 定例会</p> <p>11/11(水)豊明市社会福祉大会リハーサル</p> <p>11/12(木)豊明市社会福祉大会主催：社協</p> <p>11/15(日)知多市太極拳講演会 知多市勤労文化会館</p> <p>11/18(水)地域サロンフォローアップ会PR活動 主催：市役所高齢者福祉課 12/3(木)民生委員会長会PR活動 主催：社会福祉課</p> <p>12/10(木)定例会 12/17(木)民生委員3部会PR活動</p> <p>1/14(木)定例会 1/21(木)地域生活支援部会 主催：豊明市障がい者基幹相談支援センター「フィット」</p>
事業の成果や効果	自前の機材(スクリーン)を持つことによって活動の為の準備(機材の予約等の手配)の労力が必要なくなり、急な依頼もスムーズに受けることができるようになった。それによって、当グループのPRもたくさん行なうことが出来るようになった。
事業の反省点や課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・活動にかかる経費を見積もることをしてなかったので、活動すればするほど、自腹による出費がかさみ、メンバーの負担が大きくなってきてしまっている。 ・当グループが活動する為の必要不可欠機材であるプロジェクターがまだ無い為、その手配に困ることが生じた。
今後における事業展開	グループ結成1年目では予測つかなかった諸事項をふまえて次年度は、統括的な活動計画をたてるようにするとともに、もっとPR活動を増やしてパソコン筆記の周知をすすめたい。
その他	H27年度のパソコン筆記者養成講座によって、念願だったグループのメンバーが増加したので、次は、メンバー全員が即戦力になるようにスキルアップの練習会を開催していく予定です。

事業収支決算書

収入		単位:円	
科目	予算額	決算額	内訳(積算根拠)
市交付金	29,000	29,000	
自己負担金(会費等)	420	373	
事業収入(受益者負担金)	0	0	
その他収入			
合計	29,420	29,373	

支出		単位:円	
科目	予算額	決算額	内訳(積算根拠)
備品購入費	26,624	26,624	スクリーン90インチ
印刷製本費	1,296	1,249	チラシ印刷代300枚
消耗品費	1,500	1,500	ポケットティッシュ @5×300(配布用)
合計	29,420	29,373	